



126年の染小の歴史に幕

く閉校式に寄せてく

校長 中尾 宏文

去る三月四日（日）染河内小学校の閉校式が行われました。当日は、春を思わせる穏やかな陽気のなか、三百名を超えるご来賓、保護者、地域の方々のご臨席の下、校旗の返還を行いました。式の中で子どもたちは、胸を張って伝統の鼓笛演奏や、想いを込めた呼びかけを行い、ご来場の皆さんの感動を呼びました。式の後には、閉校記念モノUMENTの除幕式を行いました。本号では式の中で校長として述べた挨拶をご紹介します。私の閉校に寄せる想いをお伝えします。なお、当日の写真は、ホームページに掲載していますのでご覧ください。

六粟市立染河内小学校の閉校式にあたり、ひこご挨拶を申し上げます。

本日は、兵庫県教育委員会播磨西教育事務所長 中田直人様、兵庫県議会議員 春名哲夫様、六粟市議会議員 實友 勉様をはじめ、多くのご来賓・保護者・地域の皆様のご臨席の下、創立百二十六年の本校の長き歴史に幕を閉じる閉校式を迎えましたことは、誠に感慨深く、万感の想いが駆け巡ります。

染河内小学校は、見事な石垣と美しい桜、大きなかしの木と子どもたちの歓声がとてもよく似合う素晴らしい学校でした。現在、学校の建つ稲荷台地に校舎を建築するにあたっては、地域の皆様、総出で山を削り、高く石垣を積み上げ、土地をならし、木材を切り出しての大事業であったことが想像できます。地域の皆様のご支援とご協力により、年々教育環境が整えられ、教育は充実し、多くの人材を育んできました。まさに、学校は地域と一体となって歩んできました。

平成29年度教育目標

自ら学び 心豊かに

夢はぐくむ児童の育成

★学が楽しき、共に生きる喜びを追求し
未来に挑戦する態度を育てる

14校号
3. 小学
30. 内 3
H 染河校

校歌には、仰げば高い峰山の 朝の光の磨き坂 櫻の根っこに教えられ」という文句があります。峰山に向かう高い目標、磨き坂に学ぶ心構え、櫻の木に根ざすたくましさなど、染河内小学校は、まさに教育における普遍的な価値をめざした学校でした。それは、はだしの健康教育、地域素材の教材化、命を育む食育、ふるさと教育といった本校ならではの特色ある教育として発展してきました。

時は流れ、子どもたちに、より適した教育環境を」という時代の要請にこたえるべく、保護者・地域の皆様をはじめ、行政・議会・教育委員会等関係各位のご理解とご尽力により、新しく「ほりま 一宮小学校」の開校が決定しました。

本校最後の一年となった本年度も、地域の自治会・老人クラブの皆様をはじめ、ふるさと先生による染河内ならではの豊かな体験活動・読み聞かせ、見守り隊の皆様による通学路の安全確保など、子どもたちのため、学校のためにと、地域ぐるみで学校を支え、本校教育にかかわっていただきました。九月最後の運動会には、ありがとう染小 想いの絆をいつまでも!!」という閉校記念事業の入口ガンの下、四百名を超える方々にご参加いただき、子どもたちにとって、楽しく思い出に残る行事にさせていただきました。

本校児童六十六名 四月から六年生は、「二宮南中学校」へ進学。一年生から五年生は、進級して「ほりま 一宮小学校」へ通います。本校の教えを忘れず、目標を高く、しっかりと根を張り、ねばり強く、そして、友だちと切磋琢磨して、より大きな集団の中で、たくましく育ってくださることを願っています。

後になりましたが、本日の閉校式にあたり、これまで染河内小学校の教育にかかわってくださったすべての方々に、心より厚くお礼を

申しあげますとともに、四月から新たなチャレンジを始める子どもたちに、変わらぬご指導とあたたかい見守りをお願い申し上げます。ご挨拶いたします。

平成三十年 三月四日



閉校式児童発表 鼓笛演奏（校歌・染河内子どもの歌・運動唱歌）よびかけ（かしの木と共に） 歌（ふるさと）



創立百周年記念碑の隣に建てられた 閉校記念碑

今後の行事予定

3月

- 15日（木） はりま一宮小スクールバス試乗（登校時7：30～各登校班毎）
- 20日（火） 給食終了
- 22日（木） 卒業証書授与式
- 23日（金） 平成29年度修了式・離任式
- 27日（火） 業者備品移転作業
- 31日（土） 染河内小学校閉校

4月

- 9日（月） はりま一宮小学校 開校式・入学式・始業式
- 11日（水） 学級理事選出用紙配布
- 12日（木） 給食開始
- 13日（金） PTA本部役員会・理事会
- 17日（火） 全国学力学習状況調査6年（国算理）
- 20日（金） 授業参観・PTA総会・学級懇談

卒業おめでとう

染小最後の卒業生13名

六年生十三名は、学校をしめくくる大きな節目の年に、本校最後の卒業生として、全校の先頭に立ち、下級生を導いてがんばってくれました。とても立派な最学年でした。来る二十二日の卒業証書授与式には、最後の卒業生として

卒業最後の授業式に、担任の先生が、雄大な指か導かれたの、胸を張って臨みます。

